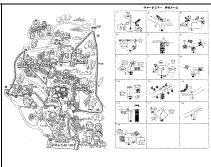
ウォーキングプログラム「ウォークラリー村内コース」



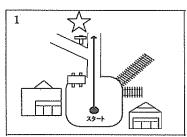


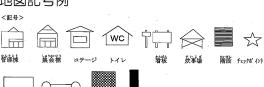


小学校高学年以上	人	数	最大	150 名程度までが最適	
1 時間~1.5 時間程度	天	候	晴天	時に適したプログラム	
コマ地図を頼りに、グループごとに村内を歩き、チェックポイントを回ります。話し合いをし					
ながら活動することで、グループワークの実際を具体的に学び、協調性などを高めることがで					
きます。					
ふれあいの村全域(全て屋外での活動となります)					
個人での持参品 ※個人の持ち物には名前を記入					
口飲み物 口帽子 口汗拭き用タオル 口筆記用具 口虫よけグッズ(必要に応じて)					
グループでの持参品					
口時計(グループ毎に時間管理が必要となるため)					
ロバインダー(あると便利です。※貸出しも可能 [必要枚数をお知らせ下さい])					
口コマ地図(1グループ1枚。しおりに綴じ込んでも OK)					
※ふれあいの村ホームページよりダウンロードして下さい					
団体での持参品 口救急用品					
※ふれあいの村ホームページよりダウンロードして下さい					
□プログラム実施の予約 ⇒ 『活動計画書』への記載をお願いします					
•「ウォークラリー村内コース」「ふれあい広場(スタート・ゴール地点)」を記入しました ***********************************					
□下見					
					①危険個所 ②課題ポイント周囲の状況 ③活動時に使用するトイレの場所
- ・「コマ地図」「解答」をダウンロードし、必要枚数のコピーを済ませましたか?					
・活動時の服装や持参する持ち物の案内、団体での持参品の準備はできていますか?					
・活動時の服装や持参する持ち物の案		体で	の持参	品の準備はできていますか?	
・活動時の服装や持参する持ち物の案 口引率者間でのプログラム運営方法の確		体で	の持参	品の準備はできていますか?	
口引率者間でのプログラム運営方法の確	記 記 か?(物	物品受	愛取り,	/巡回/ポイント配置/救急など)	
口引率者間でのプログラム運営方法の確・引率者の役割分担は決まっています。	認 か?(* 変です	物品受	更取り <i>。</i> ロマ地區	/巡回/ポイント配置/救急など) 図 5番/6番/12番/13番)	
	小学校高学年以上 1 時間~1.5 時間程度 コマ地図を頼りに、グループごとに村内をながら活動することで、グループワークのきます。 ふれあいの村全域(全て屋外での活動となる。 個人での持参品 ※個人の持ち物には名前口飲み物 口帽子 口汗拭き用タオルグループでの持参品 口時計(グループ毎に時間管理が必要とロバインダー(あると便利です。※貸出コマ地図(1グループ1枚。しおりに※ふれあいの村ホームページよりダウンの持参品 口引率者用の解答 ※ふれあいの村ホームページよりダウンラム実施に向けてロプログラム実施に向けてロプログラム実施の予約 ⇒ 『活動計・「ウォークラリー村内コース」「ふれか? ・「バインダー●枚(必要であれば)」のロ下見 ・コースの下見、ポイントの確認を済りを個所 ②課題ポイント周囲の場面の準備	小学校高学年以上 1 時間~1.5 時間程度 フマ地図を頼りに、グループごとに村内を歩き、ながら活動することで、グループワークの実際をきます。 ふれあいの村全域(全て屋外での活動となります 個人での持参品 ※個人の持ち物には名前を記入 口飲み物 □帽子 □汗拭き用タオル □筆記グループでの持参品 □時計(グループ毎に時間管理が必要となるたロバインダー(あると便利です。※貸出しも可□コマ地図(1グループ1枚。しおりに綴じ込※ふれあいの村ホームページよりダウンロー団体での持参品□対急用品□引率者用の解答 ※ふれあいの村ホームページよりダウンロープログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施に向けて□プログラム実施の予約 ⇒ 『活動計画書』・「つォークラリー村内コース」「ふれあい広がか? ・「バインダー●枚(必要であれば)」の貸出希の下見 ・コースの下見、ポイントの確認を済ませま ①危険個所 ②課題ポイント周囲の状況 □必要品の準備	小学校高学年以上	小学校高学年以上 人 数 最大 1 時間~1.5 時間程度 天 候 晴天昭 コマ地図を頼りに、グループごとに村内を歩き、チェックボ ながら活動することで、グループワークの実際を具体的に学きます。	

ウォーキングプログラム「ウォークラリー村内コース」				
	進行	備 考		
	①実施準備			
	・管理棟事務所での貸出品の受け取り(バインダーを			
	借りる場合)			
	• 各持参品の準備(子ども・引率者)			
	• ポイント担当スタッフの配置(計 4 か所)			
	②集合•全体説明	⇒指導上の留意点		
	1)全体集合	≪安全・マナーについて≫		
	・コマ地図・バインダー等の配布	1:グループで行動すること		
	2)プログラムの説明	2:こまめな水分補給をすること		
	▶「コマ地図」の番号に従いコースをたどる。	(熱中症予防)		
	途中、チェックポイントの問題を解きながら	3:走らないこと(けが予防)		
	進む。	4:木の根、坂道、階段に気をつけ		
	▶コマ地図の見方の説明	ること(けが予防)		
	…●は現在地、→は進行方向を示す	5:草のしげみ、道や広場以外の場		
	…道の別れ方や建物の様子と地図の記号とを	所に入らないこと(虫さされ防		
 当日の	照らし合わせながら、進行方向(→の方向)に	止)		
流れ	進む。	6:他の団体が村内で活動している		
7101 0	…間違えが無ければ次のコマ地図の現在地が	場合には、他の団体の活動に支		
	現れる	障がないように静かに通過する		
	…コマ地図に使われている記号の説明	7:あいさつを忘れずにする		
	…コマ地図は東西南北の向き(北が上とは限ら			
	ない)、地図上の距離は一定ではない			
	▶常にグループで行動し、ゴールにもどる。			
	…スピードを競う活動ではなく、設定時間(最	⇒プログラム開始時		
	後に発表)に最も近いグループから順位をつ	スタートはグループごとに出発さ		
	ける。	せる。2番目以降のグループは先		
	3)安全・マナーについての確認	行グループが見えないように時間		
	▶備考を参照	差をつけることが望ましい。		
	③プログラム開始	…前のグループが見えると、後ろ		
	④プログラム終了	をついて行ってしまう		
	• 結果発表(タイムや各ポイントの解答など)	…グループ数が多い場合は出発の		
	児童・生徒の体調確認	間隔を適宜調整するとともに、		
	グループで感想などを共有する	スタートまでの待ち時間の対応		
	⑤片づけ・貸出品の返却	を考えておく。		
	コマ地図例	列		

その他

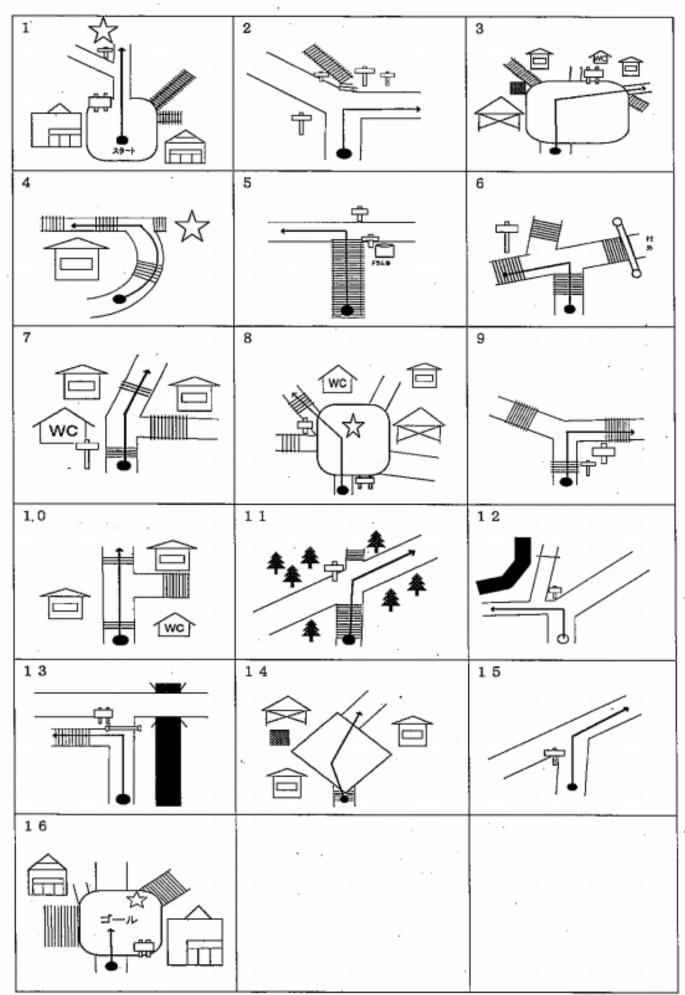




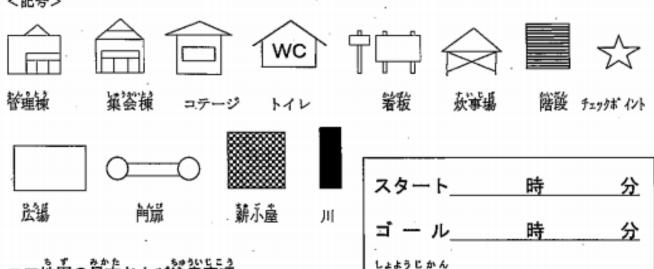
Li 编

削氚

ウォークラリー 村内コース







コマ地図の見方および注意事項

- ・ コマ地図には、鎧の分岐流が栄してあります
- ●が規差地です
- ・ 奖節が維行労高です
- ・ 地面上の方位、距離は5-や地面によって違います
- 次のうや地図まで、10分以上かかることはありません
- ラリーデは、ことのないようにしましょう

コマ地図 番号	問題	前 答
1	分かれ道の真ん年にベンチがあります。このベンチに 名前をつけてください。	
4	ここからのながめはどうかな? 階酸の学に見える契きな鍾暢の学にある、とがった 釜鯛の稀は、荷のためにある物でしょうか?	
8	送いところに出てきたぞ! この送場は、符という名前でしょうか?	
16	ゴール発の駐軍領の災旨に焚きな未があるぞ! この未は、荷という未かな? ヒント:ゴールの広場に簡じような未が・・・	
16	最後に記憶分のチェックをしてみよう。さて、スタートからゴールまで、どの鎧を通ってきたかわかるかな? 地図に続いてきたところを書いてみよう!	

ウォークラリー 村内コース ≪正解≫